

## ⑤ 知的障害者の心理

### 課題

社会参加に向けての心理的支援のあり方に関する基本的な理解をテキストからまとめ、これまでのあなたが行ってきた支援の実際を具体的に述べなさい。

障害のある人もない人も共に、地域で生活し活動できる社会を目指すノーマライゼーションの理念に基づき、私の所属施設では、就労移行支援事業・就労継続支援事業を行い日中活動の支援を行っている。所属施設では、作業を通して、職業スキルの向上、社会性・コミュニケーション能力の向上を目指し、また事業所内での行事を行うなど、利用者の余暇活動の充実に目を向け施設運営をしている。

障害のある方の社会参加を妨げる障壁として、本人、家族、そして地域社会に、それぞれ不安感、遠慮、理解不足などといった心理的な障壁と、情報不足や機会不足や環境などの物理的な障壁がある。バリアフリー社会を目指し、環境面の整備とともに、障害のある方に対する正しい認識と理解をもち、障害の有無に関わらず、誰もが地域社会の中で暮らしていける社会を実現することが求められる。しかし、間違った認識・理解のため、障害のある方に対する、偏見や差別が生じ、本人の抱える問題に関心を持たないなど、地域社会の中での障壁が存在しているのが現状である。私たち施設職員は、障害のある方、その家族、また地域社会に対し、この心理的な障壁や物理的な障壁、社会的な障壁を取り除く努力をしていかなければならない。利用者が、施設の活動を通じて、地域の社会的活動に参加できるなど、施設は、利用者と地域社会との懸け橋に

なれる。施設の活動を通じて、仕事や暮らし、充実した余暇活動の提供が施設の役割であると共に、障害のある方々の社会参加を妨げる、本人、家族、地域または社会にある様々な障壁を取り除くための活動を行うことも、私は福祉施設の重責であると考えている。

障害のある方の、社会参加に向けて基本的な支援者の姿勢として、本人の自己選択・自己決定の下に限りなく本人の立場に立ち、本人を支えることが必要とされる。障害のある方の中には、言語コミュニケーションをとるのが難しい方もいる。表出するコミュニケーションがないからといって、本人のニーズや思いがないわけではない。適切なコミュニケーションを獲得する支援の必要や、代替えのコミュニケーションツールの必要性を考慮し、選択肢や情報をわかりやすく提示することで、本人による自己選択・自己決定の手がかりになるかもしれない。たとえ日常生活において支援を必要としても、経済的な援助を受けていようとも、本人の望むこと、必要とすることを自分で選び自分で決めていき自分の人生を創り上げていく意志を尊重していくことが、本人の豊かな人生に繋がる。

利用者の、社会参加に向けた支援として、所属施設で、ボランティア清掃を起案し実施した。利用者と共に、町内の道路、公園などの公共の場所のボランティア清掃活動を行い、利用者が、地

域の一員として社会参加できる機会の創出として、地域社会とのかかわりを深め、地域の一員として、地域への愛着や帰属意識を深めることを目的として、またノーマライゼーションの理念に基づいて、地域の方の障害に対する理解を促進することを踏まえ、地域の方との交流を深め、障がいのある人と障害のない人が分け隔て無く共に共生していく社会づくりの活動の一環として町内の環境美化活動を定期的に行うことにした。これは先月の会議にて起案し、今月からスタートした取り組みである。成果や結果は、まだ出ていないが、この活動を通して、地域とのつながり深めていきたいと思う。今後の展望として、この活動を町内会などに広げ、地域住民と共にボランティア清掃を行っていきたい。また町内会の活動に参加するなど、地域住民と交流する機会を作っていこうと思う。

利用者の豊かな人生に向けて、このボランティア清掃の取り組みを通して、利用者に他人から認められる喜びを感じていただきたい。取り組みの中では、先輩や後輩をはじめいろいろな人たちと接するようになり、その成果を評価さ

れることになる。またボランティア清掃を通して、地域の方、社会から自分の存在が認められる喜びを得るものになりたい。そして、自分の存在が認められ、役割を与えられることで、責任を果たす自覚が芽生えるものと考えている。自分がいなければ、みんなが困る。みんなに必要とされているという思いは、本人の生きがいに繋がる。障害のある方も、障害のない方にとっても、他人から、社会から必要される喜びを感じ、限りある人生、一度きりの人生の中で、生きがいを感じて生きていくことは幸せな事である。そのような社会の実現は、とても難しい事かもしれない。しかし、福祉の現場で働く者として、障害のある方も、障害のない方も、分け隔てなく暮らしていく社会を作っていきたいと思う。

**講評：**

支援の実際がしっかりと記述され、教科書からの学びも読み取ることができる優れたレポートです。また、アセスメントからのPDCAサイクルを意識されている様子がかがわれ、特に取り組みの振り返りの重要性について記述されている点がよかったです。